

急性虫垂炎手術における臨床的研究

研究の概要：

急性虫垂炎は急性腹症の一つで、外科疾患でもっとも一般的な疾患の一つです。手術方法も開腹手術から、近年の腹腔鏡手術の進歩と共に、腹腔鏡下での虫垂切除術も一般的になってきました。

本研究では、急性虫垂炎の患者さんに対する手術治療や合併症などの臨床的検討を行う事を目的としています。

研究対象：

2015年4月1日から2019年7月31日の期間において、相澤病院外科で、急性虫垂炎の診断で虫垂切除術を行った、全患者さんの診療録を対象とします。

研究の意義：

急性虫垂炎患者における手術の治療法やその合併症について評価することで、治療の妥当性や今後の診療へ活用できる可能性があります。

研究の目的：

本研究は、外科で急性虫垂炎に対して虫垂切除術を行った全患者さんについて検討し、治療の妥当性を検証することを目的としています。

研究の方法および内容：

相澤病院の診療録データベースを利用して、診療録より必要な情報(患者背景、臨床経過、手術所見、術後経過)を収集し、統計学的な解析を行います。情報収集の作業に当たっては研究担当者がこれを行います。

個人情報に関する配慮：

人体から採取された試料ではなく、診療録を主とした既存資料を研究に用います。閲覧する診療録には個人情報が含まれますが、患者さん個人が特定されない方法で情報を収集します。対象となる患者さんの識別は本研究専用で別途割り振られた研究番号を使って管理し、個人情報が院外に出ることはありません。患者さん等からのご希望があれば、その方の診療録は研究に利用しないようにしますので、いつでも次の連絡先まで申し出てください。

研究責任者：

〒390-8510 長野県松本市本庄 2-5-1

社会医療法人財団 慈泉会 相澤病院 外科センター 守安 諒
TEL 0263-33-8600 (代表) / FAX 0263-32-6763